

令和2年度 決算報告

令和2年度一般会計の決算規模は、歳入総額が42億5,545万2千円で、前年度と比較すると6億5,159万9千円(18.1%)の増、歳出総額は40億9,815万7千円で、前年度と比較すると6億2,860万5千円(18.1%)の増となりました。

また、歳入歳出差引額は1億5,729万5千円の黒字ですが、このうち翌年度へ繰越すべき財源が1,864万3千円あり、実質収支額は1億3,865万2千円と、前年度より439万6千円(3.3%)の増となりました。

歳入について、町税のうち新税率の適用及び業績の悪化により法人町民税が27.5%の減となったものの、給与所得の増等により個人町民税が3.8%の増となり、町民税全体では0.3%の増となりました。固定資産税は、土地、建物、償却資産からなる純固定資産税が0.6%の減、国有林野交付金が6.5%の増、県有資産交付金が174.9%の増となったことにより、固定資産税全体では3.7%の増となりました。軽自動車税は、新税率の自家用四輪自動車登録台数の増

により14.3%の増、たばこ税は販売本数の減少により1.7%の減、入湯税は入浴客数の減少により21.3%の減となり、町税全体としては1.8%の増となっています。

地方交付税については、普通地方交付税が4.5%の増、特別交付税は6.4%の減で、全体では3.4%の増となりました。

国・県支出金のうち、国庫支出金では、プレミアム付商品券事業費補助金、同事務費補助金、農山漁村地域整備交付金の皆減や、社会資本整備総合交付金の減はありましたが、公立学校施設整備費負担金、特別定額給付金給付事業費補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生推進交付金、道路メンテナンス事業費補助金の皆増や自立支援給付費負担金、低所得者介護保険料軽減負担金の増等により、全体では262.8%の増となりました。

県支出金においては、自立支援給付費負担金、農地利用最適化交付金、機構集積協力金事業費補助金、農業夢プラン応援事業費補助金、歩道除雪事業委託金が増となったものの、森林環境保全整備事業費補助金の大幅減となったほか、秋田県議会議員選挙費委託金の皆減や福祉医療給付費補助金の減等により、全体で1.9%の減となりました。

歳出について、経常収支比率は88.5%となっています。

その他は下記をご覧ください。

◇歳出の性質別構成比率◇

(単位：千円)

【義務的経費】	1,224,923 (29.9%)
◎人件費	672,859 (16.4%)
(うち職員給)	382,098 (9.3%)
◎扶助費	234,094 (5.7%)
◎公債費	317,970 (7.8%)
【投資的経費】	619,920 (15.1%)
◎普通建設事業費	618,126 (15.1%)
【その他経費】	2,251,768 (55.0%)
◎物件費	559,530 (13.7%)
◎維持補修費	55,727 (1.4%)
◎補助費等	965,831 (23.6%)
◎投資出資貸付金	97,182 (2.4%)
◎積立金	184,658 (4.5%)
◎繰出金	388,840 (9.5%)
歳出合計	4,096,611 (100%)

※ () 内は構成比率

令和2年度主要施策

(単位：千円)

『補助事業』

義務教育施設整備事業 (工事管理業務含む)	372,053
長場内橋撤去工事	26,600
橋梁補修工事	25,498
除雪ロータリ購入事業	22,550
造林事業	14,723
橋梁点検事業	9,335
あきた白神DMO負担金	6,405

『単独事業』

義務教育学校整備事業 (繰越明許分)	45,045
福祉医療	29,513
バス路線維持費補助金	18,677
奨学金貸付金事業	17,280
複合経営推進助成事業	14,813
町道補修等工事	12,426
お買い得商品券助成金	11,192
草刈装置購入事業	9,482
子育て応援金	9,000
消防団可搬ポンプ更新事業	6,985
高齢者バス無料化事業	6,237